

教科	科目	単位数	学年	学科・選択等
地理歴史	日本史A	2	3	全学科・必修

科目の概要	日本史を主に近現代を中心として学習する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 近現代史の歴史的事象と現在との結びつきを調べ考える活動を通して、現代の社会やその諸問題が歴史的に形成されたものであるということ、歴史を学ぶ意義に気付く。 2 主体的な歴史学習を通して、現代の日本と世界の抱える諸課題について考察し、国際社会において平和で民主的な国家・社会を形成するために、私たちが果たすべき役割について考える。 			
教科書	東京書籍『日本史A 現代からの歴史』			
副教材等	自主作成プリント・地歴高等地図（帝国書院）			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	日本史において興味関心を持ち、主体的に学習に取り組み、授業への出席が良好であるか。	授業時に積極的に問題解決を図ることができるか。自分の考えを明確に他者に伝えることができるか。	演習問題で学習したことを解答することができるか。ノートを適切にまとめているか。	日本史の基礎・基本的な知識を得ることができるか。
評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 知識・理解については、主に定期考査で評価します。 2 考え、判断する力、加えて表現力を評価するために、授業中や考査のときに、作文やレポートを作成してもらうこともあります。 3 普段の取り組みの様子については、次のように評価します。 <ol style="list-style-type: none"> (a) プリントやレポートなどの成果物を点数化します。内容の良否の他に、読みやすさなどについても評価します。 (b) 欠席・遅刻がないか、授業に対して集中できているかどうか、提出物の期限は守られているかなどについても評価します。 4 1～3を合せて総合的に評価します。中心になるのは定期考査ですが、出席状況や授業態度などの良否により、評価は大きく変化します。普段の授業での取り組みが重要です。 			
教科からのメッセージ（注意事項）	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本史学習に必要な範囲内で地理学習を行うこともあります。白地図を使用してのプリント作成。 2 単に歴史的知識を得ることは、歴史学習の目的ではありません。それをもとにして、「では、現在のこの課題についてはどう考えますか？」という問いに答えられるようになることを望みます。 			

◎年間授業計画

学習内容	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
私たちの時代と歴史	○								
国際環境の変化と明治維新		○	○						
近代国家の成立と国際関係の推移			○	○	○				
世界大戦をめぐる国際情勢と日本					○	○	○		
現代世界と日本							○	○	○